

# てんや一翫

16.2. No. 224  
発行所 文芸春秋社  
責任者 加藤 啓  
0663-88-5292

祖谷の知人の家に尋ねて縁側に座ると  
すぐに小鳥がスーッと。まさにスーッとです  
腹が来た。ちまこビッグリする。  
一羽が目に入ると。近くに数羽が飛びまわ  
る。ほんと。ヒマワリの種をめぐりて来るという  
畑に行つても。庭に出るとすぐに尋ねて来る  
ピー・ピーと鳴いて要求してくるそのついで。

# 四十雀

ミニビュウガラ

# 山雀と

ヤマガラ



とういへば、ホサの頃。どこのお祭りの  
時、おみこを引くヤマガラを見ることが  
思い出しで。  
ヤマガラは、人になつて交易の小鳥です。  
何だかひくとも、近くまでくる。  
今頃の香菊は、カウ属の某団さまに  
目にします。自分は、その中で、エラカ  
が好きです。  
野生の生動物を飼うには  
注意が必要だとおもいます。  
それは、ペットと同じです。途中の頃に  
入るひくはつて、知らぬふりはしてはい  
けません。かたがと。  
とさか、山雀は、昔から人の近くによく見かけ  
る。いろいろの種を教えてくれたりです。  
おれ、ヒマワリの種をめぐりてはひめま  
というので、ヒマワリの種を予しつて、所、ヤマ  
ガラが見つて、全部、エサに持つて行かされたの  
はひまりです。  
ちまこ頭に果をくだ、この機会にエサやりを  
はひめました。  
はひめは、三羽が来ました。お皿の中に入れ  
ると、飛んできて、クワエて、近くの木の枝にとま  
つて、皮をむき食べはじめ。  
腹がいっぱいになると、今度は、嫌々お皿へ  
が、かくはひめめるので、皿になくひるまで来る。  
所が四十雀は、近くまで果をくだ、皿まは、こい  
ヤマガラが皮がむいて、近人をシロウロ、  
おとこにりますと、サッと取りに斬る。時には  
ヤマガラの足とこのエサを獲取りをしこり  
する。

野生の生動物を飼うには  
注意が必要だとおもいます。  
それは、ペットと同じです。途中の頃に  
入るひくはつて、知らぬふりはしてはい  
けません。かたがと。  
とさか、山雀は、昔から人の近くによく見かけ  
る。いろいろの種を教えてくれたりです。  
おれ、ヒマワリの種をめぐりてはひめま  
というので、ヒマワリの種を予しつて、所、ヤマ  
ガラが見つて、全部、エサに持つて行かされたの  
はひまりです。  
ちまこ頭に果をくだ、この機会にエサやりを  
はひめました。  
はひめは、三羽が来ました。お皿の中に入れ  
ると、飛んできて、クワエて、近くの木の枝にとま  
つて、皮をむき食べはじめ。  
腹がいっぱいになると、今度は、嫌々お皿へ  
が、かくはひめめるので、皿になくひるまで来る。  
所が四十雀は、近くまで果をくだ、皿まは、こい  
ヤマガラが皮がむいて、近人をシロウロ、  
おとこにりますと、サッと取りに斬る。時には  
ヤマガラの足とこのエサを獲取りをしこり  
する。

# 三嶺剣山の食糧

祖谷の山々が、二〇〇〇年頃より、ウツロミ  
やリウガ等の木々の皮をむかひはひめる。  
人工林の杉林や松林も次々と被害がえが  
る。対策を講ぐてきました。  
木々にネットをまいたり、三嶺の様に  
おんネットを囲って、鹿が入らない様に  
したり、農作物にも被害が大きくなり  
被害に指定して、餌にのりとお金を  
ぬく餌リクはひめると、一年に百  
頭を越える鹿を狩る人が出る程に  
なっている。  
NPO法人三嶺を守る会が、三嶺を  
中心に、被害を少なく、自然保護の  
為に様々な活動を行っている現状。  
この度、三嶺、三嶺の食糧見学の  
さしの手紙を発行しました。  
よして、この度、東祖谷の子供達にも、興味  
を持つてほしい、知ってほしいおみこで、中  
学生全員と先生に呼びかけました。  
また、三嶺不東祖谷支所図書室に、寄  
贈し、置いてもらうことになりました。  
まあ、見てみて下さい。

手の平の種をとりて来るまで  
一目ごらうかりました。  
二羽は、すぐに手の平から持つて行きま  
すが、他のは、地面に投げやると拾つて行く  
まぐ足えまが来て、上の方をみるのです。  
早く逃げた来て、と、この方を見るのです。  
おれ、おれと口にして、種を判断し、中味が  
判るらしく、おんとすて、ハイ次々と言  
こくる。  
また、一羽だけ日は食べお、ローロー鳴いて  
仲間をよが、こと忘れぬ。  
いろいろの事を学んできます。どを判別はひめ

手の平の種をとりて来るまで  
一目ごらうかりました。  
二羽は、すぐに手の平から持つて行きま  
すが、他のは、地面に投げやると拾つて行く  
まぐ足えまが来て、上の方をみるのです。  
早く逃げた来て、と、この方を見るのです。  
おれ、おれと口にして、種を判断し、中味が  
判るらしく、おんとすて、ハイ次々と言  
こくる。  
また、一羽だけ日は食べお、ローロー鳴いて  
仲間をよが、こと忘れぬ。  
いろいろの事を学んできます。どを判別はひめ